

一般社団法人島田青年会議所

2025年度 基本資料

基本理念

一人ひとりが自身の職務を全うすることで
人と地域を想う人財へ成長し
誇り高いJAYCEEの精神を次世代へつなげる

基本方針

1. 地域を想う青年の発掘
2. まちづくりと地域との連携強化
3. 青年会議所の基本を軸とした組織運営
4. 誇り高いJAYCEE精神を引き継ぎ、未来へつなげていける組織

スローガン

勇往邁進

～想いを継承し、明るい未来を切り開こう～

理事長所信

一般社団法人島田青年会議所

理事長 山内 優輔

はじめに

1966年、「JCの若さで創ろう明るい未来」のスローガンのもと、島田青年会議所が創立されました。そして「奉仕・修練・友情」の三信条のもと、先輩方の絶え間ない努力と地域への情熱によって、その志は現在まで受け継がれてきました。

私たちが生きる時代は、甚大化する自然災害の脅威や、終息の見えない紛争など、暗い情報で溢れています。しかし、どのような時代でも、暗い情報はあったと思います。こうした中で、社会に悲観し不平不満を言うのではなく、このような時代にどう生きるかが大切だと思います。希望に満ちた未来を思い描き行動に移すことは、青年会議所の使命であると同時に、地域を想う青年としてのあるべき姿だと私は考えます。

本年度は、島田青年会議所創立60周年を迎え、大きな節目となります。私たちは、先輩方の築き上げてきた道を辿るだけでなく、自らも道を作っていく必要があります。

地域を想う青年の発掘

地域の豊かさは、そこに住む人々の心の豊かさと比例しています。この考えのもと、私たち島田青年会議所は、より良い社会の実現に向けて、60年間にわたり活動を続けてきました。近年、青年会議所をはじめとする各団体や企業では、組織の根幹を担う人材の減少が問題視されています。これは、組織は人によって成り立っているからです。島田青年会議所も例外ではなく、人口減少に伴う会員数の減少は避けられない現実です。その中で、いかに会員の資質を向上させるかがこれまでの課題でした。しかし、昨今では会員数の減少に歯止めがかからず、このままでは団体の存続も危ぶまれ、活動限界を迎える恐れがあります。

そうした中で、島田青年会議所をお預かりする身として、これまで先輩方が行ってきたさまざまな活動を、豊かな地域の実現に向けてつなげていく使命があります。会員数が減少している現状で、地域の皆様にこれまで同様の活動を推進するためには、会員拡大はもちろん、近隣の青年会議所との持続可能な関係性の構築や、目的は異なるものの地域を良くしたいという思いを持つ他団体との協力を促進していく必要があります。そうすることで力強いメッセージを発信できると考えています。このメッセージが多くの人々に届くことで、志を同じくする仲間が集うと確信しています。

まちづくりと地域との連携強化

私が考える「カッコいい大人」とは、地域の未来を見据え行動できる人のことです。地域が抱える様々な問題や課題に対して、傍観者としてではなく、実際に行動を起こせる人を指します。

近年、各地で大規模な自然災害が相次ぎ、大きな被害が出ています。島田青年会議所の活動エリアも例外ではありません。2022年の台風15号の際には、川根地区で川の氾濫による土砂災害が発生しました。川根本町では、道路が寸断され、支援が困難な状況に陥ったことが記憶に新しいです。私たち島田青年会議所は、こうした自然災害に対応するため、創立50周年を迎えた2015年に、島田市社会福祉協議会と川根本町社会福祉協議会との間で、災害時の相互協定を締結しました。それ以来、様々な訓練や共同事業を実施してきました。その結果、台風15号の際にも、被害を受けた地域住民の皆様に対し、静岡県青年会議所の仲間たちの協力を得て、迅速に復興支援を行うことができました。

しかし、近年の報道を見てもわかるように、自然災害の脅威は年々増大しています。だからこそ、これまで以上に地域防災力の強化が必要です。この10年間、島田市社会福祉協議会や川根本町社会福祉協議会と共に活動して感じたのは、若い人材の力がより一層求められているということです。ますます深刻化する自然災害の中で、青年会議所や社会福祉協議会の枠を超え、実際に行動を起こせる「カッコいい大人」の力を結集し、持続可能な災害支援組織の構築が必要です。すべての人が安心して暮らせる地域を実現することが、私が目指すまちづくりです。

青年会議所の基本を軸とした組織運営

会員の皆さんは、青年会議所の活動を楽しんでいますか？「楽しい」という感覚は人それぞれ異なるものですが、私の考える楽しさとは、単なる外的な快樂や喜びだけではなく、内面的な充実感や達成感、そして人間関係のつながりに深く関わっているものです。

今の私たちはどうでしょうか。日々の青年会議所の業務に忙殺され、楽しさを感じる余裕を失ってはいないでしょうか。青年会議所の活動における楽しさとは、苦しい状況においても、それが自分を成長させる経験であり、何かを達成するためのステップであると感じさせてくれるものだと思います。困難や挑戦に立ち向かう過程で、自分の限界を超える機会を与えてくれるのです。また、共通の目標に向かって協力することで、たとえ苦しい状況でも楽しさを見出すことができるのです。この「つながり」の感覚は、特に苦しい時にこそ強調され、より深い意味を持つと考えます。こうしたことを考えると、苦しさと楽しさは表裏一体であると言えるでしょう。私は、会員の皆さんに、このような本質的な楽しさを感じていただけるような組織でありたいと願っています。それは、単に辛いことを取り除くという安易な考えではなく、困難を乗り越えることで得られる成長や仲間との絆を感じられるような組織です。会員の皆さんが事業を終えた時に「辛かったけれど楽しかった」と、達成感を共有できる組織運営を目指していきます。

誇り高きJAYCEE精神を引き継ぎ、未来へつなげていける組織

真に地域から必要とされる組織とは、どのような組織なのでしょう。私たち島田青年会議所は1965年に誕生し、今年で創立60周年を迎えます。この60年間、522名の先輩方が様々な活動を通じて島田青年会議所の歴史を築いてこられました。

私がこの創立60周年という節目に島田青年会議所をお預かりするにあたり、なぜ60年にわたり活動を続けることができたのか、そしてこれからの未来に向けて私たちはどのように活動すべきか、改めて考える機会をいただきました。

島田青年会議所が発足した当時、先輩方は「どうすればまちづくりができるのかわからなかった」と聞いたことがあります。それでも活動の歩みを止めることなく、警察署に出向き「自分たちにできることは何か」と問いかけ、町のカーブミラーを磨く活動を始めたという逸話もあります。このように、地域が何を求めているのかを考え、今の自分たちが何をできるのかを模索し続けたからこそ、60年という歴史を紡いでこれたのだと思います。

一人ひとりが当事者意識を持ち、誰かがやってくれるのを待つのではなく、自分が行動するという気概で青年会議所の活動に取り組むことが重要です。創立60周年は、これまでの歩みや成果を振り返り、島田青年会議所を支えていただいた多くの皆様や先輩諸兄への感謝を表す場であると同時に、現役会員が先輩方の情熱を振り返り、今の私たちの活動を確認し、未来に想いを馳せる機会だと思います。その想いを受け継いで活動することで、これからも真に地域から必要とされる組織であり続けると確信しております。

結びに

先輩方が歩んできた道は、決して平坦なものではなかったと思います。多くの壁にぶつかりながらも、それを乗り越えられたのは仲間の存在があったからこそだと思います。

理事会や委員会では、自分の意見が全て否定されているように感じる瞬間もあるかもしれませんが、それはより良い事業を作るための意見であり、あなた自身を否定しているわけではありません。私たちは、明るく豊かな社会の実現のために、先輩方がそうであったように、地域を想い、活動に誇りを持ち、夢を抱いて挑戦し続けなければなりません。その過程には多くの苦難が待ち受けていますが、それを乗り越えるためには、志を同じくする仲間の力が必要です。もっと相談し、頼ってください。

本年度は17名でスタートします。これまで経験したことのない会員数での組織運営となります。会員の中には、青年会議所運動は難しい、地域への想いはそこまでないから自分にはできないのではないかと思っている方もいるかもしれません。しかし、今いる仲間や誰かのために何かしてあげたいという気持ちがあれば、それで十分です。人を思いやる気持ちこそが第一歩です。昨日より一歩前進し、思いやりの気持ちを原動力に、40歳で卒業するという限られた青年会議所運動を起こせる時間を無駄にせず、「やり切った、楽しかった」と思えるような時間にしていきましょう。

一年間よろしく願いいたします。

基本運営方針

すべての業務は一般社団法人島田青年会議所の
定款並びに各種諸規定に沿って行う

職務分掌①

筆頭副理事長

1. 会務全般の掌握及び指導
2. 担当委員会の掌握及び指導
3. 理事会・正副ミーティングの統括及び推進
4. 6月JAYCEEの誇り開発例会の企画・運営

副理事長

1. 担当委員会の掌握及び指導
2. 防災協定に基づく活動の推進
会員親睦会の企画・運営（河島副理事長）

専務理事

1. 理事長・副理事長の補佐
2. 担当委員会の掌握及び指導
3. 会計財務管理業務
4. LOM内褒賞の企画・運営
5. みらいくプロジェクトの企画・運営

事務局及び事務局長

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 新入会員の拡大 | 2. 理事会・正副MTGの設営 |
| 3. 各会議の議事録作成業務 | 4. 総会資料の作成業務 |
| 5. 渉外業務 | 6. 中部5JC合同例会の企画・運営 |
| 7. 総会の企画・運営（臨時含む） | 8. 当該年度備品準備業務 |
| 9. 出向手続き及び関連業務 | 10. 選挙管理委員会の運営 |
| 11. その他、庶務規定第2章「事務局」に則り業務 | |

職務分掌②

拡大広報委員会及び委員長

- | | |
|---------------------------|------------------------------------|
| 1. 新入会員の拡大及び統括 | 2. 新入会員準備業務 |
| 3. 新入会員のフォローアップ | 4. 1月例会の企画・運営 |
| 5. 4月拡大例会の企画・運営 | 6. 10月しまだ大井川マラソンへの協力事業
例会の企画・運営 |
| 7. HP・SNSの運用
新年会の企画・運営 | 8. バイパスクリーン作戦の統括
忘年会の企画・運営 |

創立60周年実行委員会及び委員長

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 新入会員の拡大 | 2. 5月合同交流例会の企画・運営（島田主
管） |
| 3. 8月創立60周年式典準備例会の企
画・運営 | 4. 創立60周年式典の企画・運営（9月） |

まちづくり委員会及び委員長

- | | |
|---|------------------------------|
| 1. 新入会員の拡大 | 2. 投票率向上事業の企画・運営 |
| 3. 9月ブロック大会例会の企画・運
営 | 4. 11月合同交流例会の企画・運営（榛南主
管） |
| 5. 災害に備えた組織構築に資する
活動の推進
卒業アルバムの作成 | 6. 卒業式の企画・運営 |

委員会別分担表

月	事業名	拡大・広報	創立60周年実行	まちづくり	正副
1	1月例会の企画・運営 新年会の企画・運営（会員クラブ）	○ ○	ホ		
2	総会の企画・運営（2月例会）	ホ			○
3	3月中部5JC合同例会の企画・運営			ホ	○
4	4月拡大例会の企画・運営	○	ホ		
5	5月合同交流例会の企画・運営		○	ホ	
6	6月JAYCEEの誇り開発例会の企画・運営	ホ			○
7	総会の企画・運営（7月例会）		ホ		○
8	8月創立60周年式典準備例会の企画・運営		○	ホ	
9	9月ブロック大会例会の企画・運営 創立60周年式典の企画・運営	ホ	○	○	
10	10月しまだ大井川マラソン応援事業例会の企画・運営	○		ホ	
11	11月合同交流例会の企画・運営		ホ	○	
12	総会の企画・運営（12月例会） 卒業式の企画・運営 忘年会の企画・運営（会員クラブ）	ホ ○		○	○

○：例会（事業）担当　ホ：例会ホスト担当